

# 【重要】 設置工事時・工事後は、必ずご確認ください

本製品を、お客様に安全にお使いいただき、お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、設置工事時または工事後本内容を確認し、症状が改善されない場合は当社販売会社へご相談ください。

## チェックポイント

## 対処方法

## 確認

### 回線確認

スピーカー回線の線材の導体が露出して金属配管へ短絡、又は地絡してませんか？

感電の危険、システムの発振、機器故障に至る可能性

スピーカー回線が短絡していませんか？または、接続されているスピーカーの入カインピーダンスの合成インピーダンスは、パワーアンプに適合していますか？

音が出ない、機器故障に至る可能性

スピーカー回線のそれぞれ片側と、金属配管間または大地間の絶縁抵抗値が規格値内であることを確認してください。規定値外の場合、配線を見直してください。  
(抵抗値：0.1MΩ以上 ※JEITA編集「非常放送設備マニュアル」より)

チェック

スピーカー回線のHot-Cold間又は、N-C間をインピーダンスメーターで測定し、短絡していないか確認してください。(スピーカー接続前はテストで確認できます) 適合インピーダンスは、取扱説明書に記載のインピーダンス以上であることを確認してください。

チェック

### 配線確認

スピーカー回線（大信号線）とマイク入力やライン入力などの（小信号線）とが近接、同一配管、結束がされてませんか？

システムの発振、機器故障に至る可能性

それぞれの信号線を離して配線をしてください。とくに大信号線とマイク入力線とは並走することなく、十分距離をとって配線をしてください。

チェック

### システム確認

無入力、無出力に係らず、レベルメーターやインジケーターが振れたり、スピーカーから高い音が聞こえませんか？

システムが発振している可能性

パワーアンプのヒューズ切れや、スピーカー回線短絡表示が繰返し発生しませんか？

負荷異常、システム発振、機器故障の可能性

上記回線、配線確認にしたがって確認をし、処置を行なってください。

チェック

上記回線、配線の確認を行なってください。症状が改善されない場合は、機器の故障の可能性があります。当社販売会社へご相談ください。

チェック